

あいづばんげ 議会だより

216号

令和7年1月25日発行
福島県会津坂下町議会

ばんげの「いい顔」みいつけた！

MILK HAD Dance School

関連ページ…P16



目次 - CONTENTS -

町の遠くの応援団	2
一般質問(10人が登場)	7
行政調査報告	14
みんなのひろば・編集後記	16



自作したクローズの名セリフ
「最強より最高」のTシャツを身につけ
店に立つ、店主の坂本みゆきさん



店内はマンガクローズなどに
まつわるものであふれている



新年のご挨拶

会津坂下町議会議長

赤城 大地

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
また日頃より、町議会に
対しご理解とご協力を賜
り、厚く御礼申し上げます。
昨年を振り返りますと、
我が町ゆかりの春日八郎氏
生誕百周年記念の行事が各
地で開催されたこと、道の
駅あいづ湯川・会津坂下
が10周年を迎えたこと、ふ
くしま駅伝において我が町

チームが町の部最多の入賞
回数を更新したことなど、
明るい話題が数多くあふ
れる年でした。
本年も皆様にとつて笑顔
溢れる年となるようご祈念
申し上げます。
さて、町政に目を向け
れば、財政健全化は着実に進
んでおり、新たな事業の進
捗も見受けられておりま
す。その中でも新庁舎の建
設に関しては、喫緊のもの

であり、町議会といたしま
しても、しっかりと議論し
てまいる所存です。
町民と議会が乖離するこ
となく、町民に信頼される
議会を目指し、議員一丸と
なって取り組んでまいりま
すので、本年もご指導ご鞭
撻を頂戴できれば幸いです。



あなたは知っていましたか。
県外から町を応援してくれる人たちがいること…。

町の遠くの応援団

会津坂下町出身の漫画家高橋ヒロシの作品を愛し
埼玉県の真ん中から会津坂下町を応援し、
町をPRしてくれているお店があります。



埼玉県東松山市にある居酒屋 鈴蘭。訪問すると、店内は高橋ヒロシ先生への熱い想いであふれていました。

クローズなど高橋ヒロシ作品が大好きでお子さんにも是非読むように勧めるほど。作品にまつわるものを集めていく中で、モデルとなったと言われる会津坂下町を一度訪れてみたいと思われているとのことでした。

会津坂下町にクローズを感じられる場所があったら、もっとたくさん作品のファンが町にやってくるのではないかとおっしゃっていました。坂本さんからお手紙をいただいたので、一部をご紹介します。(下段)



居酒屋 鈴蘭
埼玉県東松山市箭弓町2-6-4



高橋ヒロシさんが手がけた
今では手に入らない幻のマップ

このご縁をきっかけとして、今後もつながりを継続し、絆を深めていきたいとの思いを強くしました。

他にも町とのつながりをもつ人やお店がたくさんあると思います。そういうお店を発掘し、会津坂下町の魅力発信の拠点として、応援団になっていただきたいと思いますね。

最近では、会津の日本酒もお店で置かせていただき、お客様にも喜んでいただいています。

埼玉県の真ん中ではありませんが、会津の魅力を手伝ってアピールさせていたただきたいと思っています。そして、クローズに出てくる天狗の森など、私たちファンにとって最高の場所もプラスして配信していきたいと思っています。

近くにお越しの際には是非遊びに来てください。

居酒屋鈴蘭 坂本みゆき

令和6年 第4回定例会

県有地の取得費を計上

補正 坂下東第一土地区画整理地内の県有地の取得へ
令和6年度一般会計補正予算ほか

一般会計ほか6会計の補正予算が提出されました。

一般会計の歳出の主なものは、福島県人事委員会勧告に基づいた福島県職員の給与改定に準拠した人件費の補正や、ふるさと納税寄附金の増に伴う返礼品等にかかる経費の増額、県有地である旧農業試験場の取得費などとなりました。

今回取得する県有地は、平成2年にライブセンター用地として町が県に払い下げ申請をしてから34年が経過しており、有効活用が図られていない現状にある土地といえます。当面、多目的広場およびその駐車場として利用すると説明がありました。

その他の会計の主なものは、福島県人事委員会勧告による人件費の補正となりました。

各会計の補正予算を審議し、原案通り可決しました。

(万円未満四捨五入)

	補正額	補正前の額	補正後の額		
一般会計	7億475万円	84億7,010万円	91億7,484万円		
特別会計	国民健康保険	537万円	19億1,236万円	19億1,773万円	
	介護保険	147万円	24億2,902万円	24億3,049万円	
	後期高齢者医療	30万円	2億2,374万円	2億2,404万円	
	坂下東第一地区土地区画整理事業	28万円	1億9,852万円	1億9,880万円	
企業会計	水道(収益的支出)	195万円	4億7,180万円	4億7,375万円	
	下水道	収益的支出	14万円	5億1,205円	5億1,219万円
		資本的支出	78万円	5億5,040円	5億5,118万円

第4回定例会のあらまし

令和6年第4回定例会は12月5日(木)～13日(金)の9日間の日程で開催しました。9日と10日には一般質問が行われ、10名の議員が登壇しました。提出された議案はすべて原案通り可決しました。

討論



反対

私は、東地区区画整理地内の県有地取得2億2千万円の予算削除、の修正案を目指しましたが採択に至りませんでした。用地取得は県との約束とはいえ、県が履行を迫ってきたものではありません。新庁舎に多額の予算を要するの、今の財政状況でこの提案が妥当でしょうか。

2億ものお金があれば国・県の補助を利用すると4億・6億もの事業も考える事ができます。公共用地取得の提案に反対します。

五十嵐一夫委員

賛成

今補正予算における最大の争点は南幹線の公共用地先行取得事業のための地方債補正ですが、執行部説明において取得の必要性時期の正当性、また庁舎建設候補地としての整合性が説明されました。それらは全て整合性がとれていると判断できます。

また取得後5年間の用途の縛りがあることを鑑みると、財政状況が劇的に回復し予算措置が可能な現段階で1年でも早く取得し、町政の為の利用をできるようにするという判断は合理的であり理解できます。

五十嵐正康委員



人事委員会勧告って何？

公務員は交渉により給与を独自に決定することができません。そこで、国家公務員の給与は人事院が民間の平均的な給与状況を調査し、民間給与と釣り合うよう、国会及び内閣に対して「勧告」を行う仕組みになっています。県職員の給与は、県の人事委員会が「人事委員会勧告」を出し、県議会で給与条例の改正を行います。

市町村職員の給与は、県の人事委員会勧告の影響を強く受けます。

条例 職員の月例給・賞与を引き上げ

県の人事委員会勧告をもとに町職員、会計年度任用職員の月例給を引き上げ、賞与は0.15月分を引き上げるための条例改正が提案されました。

この給料改定を含んだ補正予算とともに審議され、原案通り可決しました。

議員報酬に関する協議の流れ

令和6年	
1月	特別職報酬審議会において、議会議員の報酬について令和6年度中に適正な額を検討するよう答申が出る。
4月	議会改革特別委員会を設置。議長より諮問を受け、報酬について検討を開始。
9月	委員会の意見をまとめ議長に答申する。
11月	議長より町長へ報告。
	町は議長からの報告をもとに再度特別職報酬審議会に諮問を行い報酬増について答申を得る。
12月	条例の改正を第4回定例会に上程。
	最終日に可決。

条例 議員報酬の改定

会津坂下町特別職報酬等審議会の答申がなされたことに伴い、改正するものです。

○議長 29万9千円(月額)
↓39万8千円

○副議長 24万2千円
↓28万9千円

○委員長 22万7千円
↓27万1千円

○議員 22万1千円
↓26万4千円

議会でも、適正な議員報酬の額について協議してきました。これまで以上に町民のみならずの意見を取り入れた運営をしてみたいです。

反対

今回の提出議案は、会津坂下町特別職報酬等審議会の答申を受けて提出された議案であり、審議会の意見は十分に尊重されるべきであるとの考えであり、今後の議員の確保、我々議員が今後もしっかりとした議員活動を行っていくためにも必要な議案であるとの認識は十分理解しております。

しかしながら、新庁舎建設問題で揺れている今の町政、またこれが及ぼす財政的な状況も明らかになっていない現状において、この議案を通すことにはやはり疑問を感じざるをえません。

高久 敏明 議員

私はこう判断！

賛否の分かれた議案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	高久 敏明	五十嵐孝子	目黒 克博	物江 政博	横山 智代	小畑 博司	佐藤 宗太	五十嵐正康	青木美眞子	五十嵐一夫	水野 孝一	酒井 育子	山口 享	赤城 大地
議案第55号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
議案第56号 令和6年度会津坂下町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
陳情第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
発委第6号 最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

請願	件名	請願者	紹介議員	結果
第7号	福島県の自然と景観を過剰な再生エネルギー開発から守るための法的な整備を求める意見書提出の請願について	会津の自然と景観を守る会 会長 木村 保幸	青木美貴子 物江 政博	採択
陳情	件名	陳情者		結果
第1号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出について	会津地方労働組合総連合 議長 折笠由美子		採択

討論

陳情第1号に対する討論



反対

本陳情意見書は最低賃金を全国一律にし、最低賃金を1,500円以上にしろという内容であるが、将来的にそうなることには理解をするが、そうなることによる地方の被雇用者である中小事業者の影響を鑑みた場合に、その中小事業者の意見をも包括すべきであり、雇用者側だけから観た意見を盛り込んだ意見書には賛成できない。

五十嵐正康 議員

賛成

給与・報酬は、雇用主と労働者との契約で決せられますが、最低賃金は、行政が定めることのできる唯一の制度です。

最低賃金全国一律1,500円を目指すにあたり、中小企業・小規模事業所の負担増が懸念されますが、この意見書には『経営を維持し雇用を守るための中小企業・小規模事業所のさらなる支援・拡充をすること』が含まれております。その支援・拡充をはかりながら、労働者の生活の安定に向けて取り組んでいただくことを切に願います。

佐藤 宗太 議員

後期基本計画（令和7年度から）の重点事項

人口減少対策

交流人口・関係人口・定住人口・少子化対策

担い手の確保

各分野での担い手の確保

公共交通対策

持続可能な、利便性の高い公共交通構築、利用促進

DXの推進

住民の利便性の向上・行政事務の効率化

令和2年から10年間の計画「第六次会津坂下町振興計画」の後半5年間の計画である後期基本計画が、10月30日に開催された第5回臨時会において可決されました。

急速に進行する人口減少やそれに伴う担い手不足、新型コロナウイルス

町は令和7年度からこの計画に基づき事業を進めていきます。

令和6年第5回臨時会 町の未来の姿は 第6次振興計画後期基本計画を可決



議会傍聴 しませんか？



次回の定例会は3月です。
議会の雰囲気を感じ、
一緒に考えてみませんか？

【令和7年第1回定例会日程（予定）】

3月	6日(木)	招 集 日
	10日(月)	一 般 質 問
	11日(火)	一 般 質 問
	17日(月)	最 終 日

第1回定例会は令和6年度の予算についての審議が予定されています。
(予算特別委員会 3月14日)

※日程は変更になる場合があります。

一 般 質 問

これでいいの？

町 政

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。

一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。今定例会では10人が登壇しました。

掲載している内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。

一般質問の映像を配信しております。各議員の見出しの下にあるQRコードから質問の映像をご覧ください。

また、会議録もホームページをご覧ください。

会議録



その他の質問 園町道橋梁の修繕計画について



車両のすれ違いができなく、早期の改修が望まれる勝大線の蛭川橋

問 厚生病院の院外処方方は町民にとって望ましい姿なのか。病院・町等での運営協議会において、今年度は、院外処方検討事項であり、実施の予定ではなかった。町では院外処方のメリット・デメリットを検討するなど、町民アンケート等実施しなかったのか、私の調査では約65%がワンストップサービスの院外処方を望んでいる。協働の町づくりには真摯に取り組んでいない。

答 医薬分業の処方形態は医療機能の関の方針であり、病院機能の維持と存続のために必要な判断であったと認識しております。院外処方への変更は利点を持つ一方、課題も存在します。院外処方にする時間的な負担を軽減できます。



いがらし かずお 議員
五十嵐 一夫

検討はされたのか
厚生病院の院外処方に対し、町の対応は
一企業の方針であります



問 賑わい貢献団体への支援と期待
意見交換をし、支援につなげます

問 町の賑わいに貢献している団体への支援は。

答 「東松峠を護る会」など13団体あると把握しております。事務局を担う事による運営支援や、活動に対する補助金の交付、維持管理作業等の委託を行い、今後すべての団体と意見交換を実施し、活動状況を把握し、課題等を聞き必要な支援につなげていきます。

問 「小竹会」がこれからのように活動していくのが望ましいのか、町の賑わいにどう貢献できるのか。

答 中野竹子女史の顕彰追悼を目的に発足しましたが、令和4年2月に解散しました。観光物産協会が追悼事業を引き継ぎ毎年9月10日に墓前祭を実施しております。現在まで歴史と文化を護り繋いでくださった方の思いを忘れることなく支援をして、賑わいの創出を図っていきます。



たかくしあき 高久 敏明 議員

将来が不安

町の財政状況と今後の見通しは

健全化は図られています、今後もさらなる取り組みが必要です

映像はこちらから↓



問

町の財政状況について、今後の人口減少、老朽施設の修繕、維持管理費の増大、そして現在進めている新庁舎建設による財政負担増など将来への不安要素がある中どう運営していくのか。現状と今後の見通しについて伺う。

答

町の財政は、財政健全化アクションプランにより、着実に健全化は図られていると実感しております。しかし歳入では人口減少に伴い、町税や地方交付税の減少が見込まれております。

また、歳出では社会情勢による扶助費、物件費の増のほか、庁舎建設費による公債費の増が見込まれております。持続可能な財政運営を維持するためにも、さらなる財政健全化の取り組みが必要であります。



新庁舎建設による、財政シミュレーション上の影響は

さらなる基金の積立、事業費の縮減に取り組む必要があると考えます

問

新庁舎建設の計画が、財政シミュレーション上、将来の財務状況にどの程度影響を与えると考えているのか。

答

新庁舎建設については、令和6年度の当初予算編成時では、総事業費約40億円と見込み、財政シミュレーションを作成しております。シミュレーションでは事業費に対し起債・行政センター建設整備基金を充当しても約4億円の不足が生じるため、公共施設整備基金の繰入や一般財源での対応となり、行政サービスへの影響が懸念されます。さらなる基金の積立を行うとともに、事業費の縮減に取り組まなければならぬと考えております。



よこやま ちよ 横山 智代 議員

町民と共に取り組もう

ごみ減量化の重要性の啓発を

出前講座や町広報紙、ホームページ等を活用してまいります

映像はこちらから↓



問

ごみ減量化とプラスチック汚染による人体への影響等の問題の重要性を町民と共有し、協働で取り組むべきではないか。

答

ごみ減量化は町民及び事業者、行政が目標や課題を共有しながら、関心を持って行動することで減量につながり、大きな成果が生まれると考えます。出前講座や町広報紙、ホームページ等を幅広く活用して分かりやすく丁寧に説明し、町民との協働により取り組んでまいります。

プラスチック汚染問題については、プラごみ分別の徹底や、周知・啓発活動を進め、ごみ全体の減量化とリサイクルを推進し循環型社会の形成を図ってまいります。



資源物回収の様子

包括的性教育を求める

現在の教育活動を進めながら、その充実を図ることが大切だと考えます

問

「包括的性教育」を求める声が国で増えているが、どのように考えるのか。また、実施についての考えはあるのか。

答

社会の大きな変化が背景にあると考えます。インターネットの普及により性に関する情報の入手が容易になった反面、その中には正しい情報だけでなく、偏見を助長する情報も混在しており、子ども達が正しい知識を得るのが難しいことがあります。

学校では、子ども達の発達段階に応じた性教育が保健体育や理科などにおいて行われております。現在の教育活動を進めながら、その充実を図っていくことが大切だと考えております。

これも質問

固学校のトイレに生理用品の配備を固新型コロナ感染対策について
固ごみ袋(可燃)の質改善を検討



山口 山 議員

町長の想いは…

二期目の考えは

決断し、3月に表明いたします

映像はこちらから↓



問 庁舎位置を争点とすべきではないか。

答 正式に出馬を表明したわけではないので、今争点について申し上げるのは差し控えます。

問 秋まつりは、諏訪神社の例大祭である。町民と神社が乖離しているのではないか。

答 近年、「例大祭」については、町民の関心が薄れてきているように見受けられます。

例大祭における神事の持つ意味や歴史的な背景、紡がれてきた伝統等を、町民が正しく理解し、作物の収穫を町全体で祝う「坂下秋まつり」にしていきたいと考えております。



い が ら し ま ざ や す
五十嵐正康 議員

我が町の強み

発酵・肉食文化を観光に生かす

観光コンテンツとして確立し、地域活性化を図ります

映像はこちらから↓



問 町の肉食文化を100年フードへ。馬刺しやソースカツも含めた肉食文化そのものを観光コンテンツとして確立を。

答 文化庁では、日本の多様な食文化の継承と振興を図るために地域で受け継がれてきた食文化を「100年フード」として継承していく取組を推進しております。調査・研究を進め、肉食文化の「100年フード」認定に挑戦したいと考えております。

問 発酵食のブランド価値を創出し、観光コンテンツとして生かす取り組みを。

答 本町には、大変恵まれた発酵文化があり、それぞれに多くのファンがついており、町の重要な観光資源の一つであると認識しております。また食べるだけでなく、酒蔵見学などは、大変好評を得ておりますが、観光施設としての体験活動等は、人手不足等の理由により対応が困難な状況であります。

このような課題に対応していくた

読書教育を推進し、子育て環境の充実を

本に親しむことのできる環境づくりに取り組んでいきます

問 幼少期からの小中学の全ての児童生徒に行き渡る読書環境を提供できる施策を。

答 幼い頃から、絵本等に親しむことは、豊かな心を育て、親子の愛着の形成にも重要だと考えております。

各小中学校では、朝の読書活動を継続的に実施し、読書習慣の定着を図ると共に、中央公民館の司書や図書ボランティアの協力を得て、魅力的な図書室作りを行い、保育所、幼稚園でも、本に触れる機会を広げるために、中央公民館図書室に向いての本の貸し出し体験を積極的に行っております。



いがらしたかこ 五十嵐孝子 議員

財政状況を考えて身の丈にあった庁舎を事業費の圧縮や有利な起債の活用に努めます

映像はこちらから↓



問 当町の財政と、今の社会や経済の状況からみて事業費は妥当か。

答 近年庁舎を建設した市町村の例として、三春町が約18億円、埴町が約21.6億円、会津美里町が約37.1億円です。これに対して本町の事業費は概算40億円程度としております。

建設資材や労務単価が急激に高騰している現状にあり、本町の財政状況を鑑みると、さらなる事業費の圧縮や、有利な起債を活用し、一般財源の圧縮に努める必要があると考えております。

問 あらかじめ事業費予算の上限は決めているか。

答 特に定めておりません。資材価格の高騰や、労務単価の上



昇が毎年のように生じているため、新庁舎建設事業費も年々上昇が見込まれております。

問 住民への情報開示(判断材料)を適切に行いながら進めてきたか。

答 「新庁舎建設だより」で事業の進捗状況やアンケート結果の周知をしております。町民懇談会では候補地ごとの概算の事業コストなどの比較検討資料を提示しております。町のホームページには、新庁舎建設検討委員会の会議録も掲載しております。

問 推定人口何人を想定した庁舎規模か。

答 現在の職員数と、必要と思われる付属面積の積み上げで計算しております。長期的には、人口減少に伴う職員数の減少、DXの推進により行政サービスのあり方が大きく変わることも想定されており、それらも考慮しながら、より適正な規模を検討してまいります。



おばたひろし 小畑博司 議員

活気あふれるまちへ農業の振興をどう進めるのか

映像はこちらから↓



問 食糧生産は国の政策の柱である。しかし、主食であるコメの生産さえ、近い将来に大きな不安を抱えている。今、私たちができることは何か。農業の一層の振興はまちづくりの要である。活気あふれるまちへ、未来を切り開く政策の柱になるものと信じている。町長としての決意と、具体的な振興策は何か、伺う。

答 急激な気候変動や原材料価格などの高騰は農家の生産意欲を低下させ、経営継続への不安感につながっております。また、地域の魅力の低下や地域経済の衰退に直結する大きな課題です。

これらの課題を解決するために3つの視点をもって取り組みます。

1つ目は圃場の大区画化とパイプラインの整備です。受益者負担の無い方法で実施できるよう、関係機関に積極的に働きかけます。

2つ目は担い手の育成と確保です。現在、農地を守り、コミュニティを維持し、持続可能な農業の経営を目指し、地域計画を策定中です。規模

の大小にかかわらず、目指したい農業経営の方向に寄り添いながら最大限の支援をしてまいります。

3つ目は、次代を担う若手農業者が中心となって創り上げる「会津坂下スタイル」の農業です。熱い思いと斬新なアイデア、行動力を持つ「次世代農業者会」と町職員が一体となって農業の現状と課題を共有し、目指すべき方向、具体的な取り組みについて議論を重ねております。

これらの取り組みの成果を、「認定農業者会」「農業委員会」などの関係機関と共有しながら、町独自の農業施策として発信し、魅力的な農業の確立につなげてまいります。そして、農業が「将来になりたい職業」の第一位となるよう子供たちにも機会を作ってまいります。





めぐる かつひろ
目黒 克博 議員

聞き取りが困難
防災行政無線の見直しを
より確実な情報伝達の環境を整
備します

映像はこちらから↓

問 屋内型の受信機の配置が必要ではないか。

答 非常時における情報伝達を確保するために、無線通信システムを整備してありますが、気象環境・近年の住宅構造の進化により、屋外スピーカーの対応に課題が生じております。今後はそれらの解決策として市販のラジオで受信可能な「FM方式」の導入を進めております。また防災アプリ・エリアメール等の複数の情報伝達の環境を整備してまいります。

五浪美術記念館の活用を
芸術作品との触れ合いを通
し、町芸術活動の復興を図れ
るように活用してまいります

問 美術館活用と今後の企画は。

答 条例の目的を達成する為、美術記念運営委員会のご意見を求めながら、名誉町民の小林五浪画伯を中心に魅力ある企画に向け、郷土芸術家の発掘、美術サークル等の様々な展示会など、多くの町民の芸術作品などの触れ合いを通し、町芸術活動の復興を図ります。



五浪美術記念館でのバンビ展



さとう そつた
佐藤 宗太 議員

町の発展のために
産業振興にどう取り組むのか
新たなチャレンジを積極的に
支援します

映像はこちらから↓

問 農業の現状をどのように分析しているのか。

答 燃油や肥料の高騰、気候変動による品質低下などが将来にわたる農業経営継続の不安や意欲低下を招いております。

問 農業の未来をどのように描いているのか。

答 地域計画に中小規模農家を集落農業の重要な担い手に位置づけてまいります。水稻を主体とした安定的・効率的な農業経営の実現を目指し、「適地適作」「収益性や付加価値の向上」「生産コストの縮減」「新たな市場・需要の開拓」の4つの柱を掲げ、米作りと高収益作物、土地利用型作物を組み合わせた水田フル活用による農業の収益向上を推進してまいります。

問 基金が20億を超えるまで財政が改善しているが、基金運用の考えは。

答 令和5年に策定しました会津坂下町基金運用方針に基づき、安全性を優先とした上で、効率のよ

い運用を町基金運用会議で決定してまいります。

出生数減少に伴い教育施設の在り方を検討すべきでは
しばらくは今の状態を維持します

問 教育施設適正配置について検討すべきではないか。

答 様々な事柄を総合的に考慮する必要がありますが、町の公共施設の配置、町づくりの方向性も見据えての検討がなされます。現在のクラス数を踏まえると、しばらくの間は、現状教育施設を維持していく考えであります。

問 保育施設のあり方を検討すべきではないか。

答 町内には、ばんげ保育所以外にも民間の認可保育施設が3つあります。出生数の減少により、ばんげ保育所の現在の運営体制や規模をこのまま維持することは、必ずしも最適ではなく、運営に関する指針となるものも必要と考えております。



さかい いくこ 議員
酒井 育子

持続可能なまちづくり

映像はこちらから↓

当町の財政健全化の現状は

取り組みの成果として改善が
みられています



問

財政再建における、基金・公
共施設の統廃合管理計画など
について、どのような対策を講じな
がら進められているのか。

答

令和元年度に財政健全化アク
ションプランを策定し、令和
6年度までを重点期間として財政
健全化に取り組みました。その成果
として、目標としていた単年度収支
の黒字化、財政調整基金の確保、実
質公債費比率の改善が図られており
ます。



公共施設は、新規施設の整備は最
小限に抑制しながら、個々の施設の
利用状況や耐用年数、地域特性など
を総合的に勘案しながら、施設機能
の更新・複合化・集約化を図り、持
続可能なまちづくりを
率的な施設運
営、財政運営
を目指してま
いります。

「将来の会津坂下町」をどのよ
うに考えていくのか

町民の声を反映し、協働によ
るまちづくりを進めていくこ
とが必要であると考えており
ます。

問

「10年後20年後の会津坂下町
を考える会」の運営はどの様
に進め、生かされているのか。

答

様々な年代や、多種多様な分
野の方々のご意見等をお聞き
しながら、町の目指すべき姿を共に
考えていく仕組みとして組織しまし
た。20の部会でご意見等をいただき、
まとめたものが第六次会津坂下町振
興計画後期基本計画です。

独自で活動をしている「市街地活
性化部会」では「自分たちができるこ
とから始めてみよう」をモットーに
取組を実施しております。

「都市マスタープラン」や「中心市
街地活性化計画」等の策定において
も、会の仕組みを機能させ「将来の
会津坂下町」のブランドデザインを
描いていきたいと考えております。

特別委員会だより

● **新庁舎建設検討特別委員会** ●

10月30日 7回目の新庁舎建設検討
特別委員会を開催いたしました。

庁舎整備課より、比較検討資料をもと
に建設候補地について説明を受けました。

議員間討議では、新庁舎建設における
議会機能について、議場フロア関係諸室、
図書室、更には、正副議長室、議員控室
等について議論を重ね、来年3月までに
提言してまいります。



● **議会改革特別委員会** ●

10月30日に議長から議会改革特別委
員会に諮問がなされました。

諮問内容は、次のとおりです。

- 1 議会モニター・政策サポーターに係
る規定および要綱の策定
- 2 議会のオンライン化・ペーパーレス
化に係る規定および要綱の策定
- 3 正副議長選において指名推選の方法
を可能とすることについての可否の
検討、および、その他正副議長選挙
の透明化にかかる事項の検討

諮問1と3は令和7年第1回定例会ま
での答申期限となっています。

議会に町民のみなさんの意見を取り入
れる仕組みについて、また、透明化につ
いて、調査研究をしてまいります。



再始動! /

ばんげ未来トーク 派遣依頼募集

私たちと一緒に「ばんげの明るい未来」について語り合いませんか？

皆さんが日ごろ感じていることを、お聞かせください！



◎申込方法◎

実施希望日の3週間前までに、議会事務局へお申し込みください。

まずはお問い合わせください！

【問い合わせ・申し込み先】

会津坂下町議会事務局

☎84-1507

詳しくは
こちらをご確認
ください



広報広聴の大切さを再確認

行政調査受け入れ



10月11日、栃木県野木町議会が視察に来庁し、ばんげ未来トークについて、議会インターネット録画配信について、陳情の取り扱いについて、など活発な質疑応答がなされました。

他議会との交流は、自分の町議会を知ることにもつながりとても勉強になりました。

交流人口を増やすためにも、議会の交流が益々増えればよいと思います。



宵祭り
(11月2日)



小雨の降る中、坂下から運んだ大俵引きを開催！議員有志も俵を引きました。たくさんの方と一緒に参加してくれました。



姉妹都市 埼玉県 北本市へ



改選後初の議員交流会。
話の花が咲きました。

翌日は晴天！
坂下小町も
花を添えました。

産業祭り
(11月3日)



会津坂下町のブースにも
たくさんのお客さんが詰めかけました。

自然エネルギー 100%の村へ

もみ殻をバイオマス資源に

秋田県 大潟村

大潟村は、かつて日本第2の広さを誇る湖だった「八郎潟」を干拓により陸地化した村です。

稲作の副産物として排出される「もみ殻」をバイオマス資源として活用。エネルギーを取り出した後に、水田に戻すことで持続可能な水田農業を維持し、「脱炭素先行地域」を目指し取り組んでいます。

コメの年間生産量は約6万1千トン、「もみ殻」の年間処理必要量は約1万2千トンであり、カントリーエレベーター公社の地内にもみ



もみ殻を使った
バイオマス発電設備

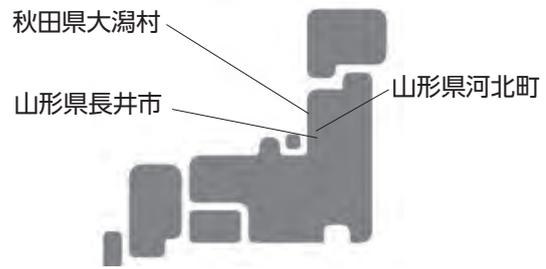
殻を原料としたバイオマスボイラーを設置し、熱導管にて村内公共施設へ温水を供給。燃焼後の燻炭は農業資材として使います。

総務産業建設常任委員会

10月15日～17日



河北町役場前にて



町の課題と向き合う



食文化を広める

馬肉で地域活性

山形県 ながいし 長井市商工会議所



平成22年の平成鍋合戦で「ばかうま鍋」が準優勝を獲得。これをきっかけに新たな地場産品として商品化しようと取り組みを開始しました。

その後、ワークショップや新商品開発・試作、販売に関するアンケート調査などを実施する中で、①長井には既に優れた馬肉料理が多数存在する、②新たな商品開発よりも、既存商品の磨き上げを優先すべきという考えから、馬肉料理取扱店を掲載した「ながい馬肉マップ」を作成しました。

平成25年度には、マスコットキャラクター「パーニック・ナガイ」を活用したPR活動と馬肉を活用した事業化の促進。事業展開の中で、馬肉チャーシュー串など数々の商品開発もされました。

現在も8月29日を馬肉の日と定めてイベント開催するなど、馬肉による地域振興を継続しています。

食で地域活性！

冷たい肉そば イタリア野菜

山形県 かほくちょう 河北町

雇用創出のために平成23年B1グルメin姫路に「冷たい肉そば」を出展し、10,000食を売り上げるなど、「冷たい肉そば」を使い地域活性化のさまざまな取り組みをしています。

また同時期に、輸入すると高額なイタリア野菜を河北町で栽培できないかと、イタリアンシェフや料理関係者と協力し、栽培を促進してきました。後に、三軒茶屋に河北町アンテナショップをオープンし、セレクトショップやレストランを運営するなど、斬新な取り組みをされています。

産業振興は、雇用の維持や促進につながるため、地場産品販路拡大のあり方を調査研究していきたいと思ひます。



シニアの力を循環

シニアみんなで健幸プロジェクト

東京都 清瀬市

清瀬市では一人では継続が難しいけれど、みんなで健康で幸せに暮らそうと、プロジェクトに取り組んでいます。「健幸」とは「健康」と「幸福」を組み合わせています。

フレイルの予防効果を高めるため、「栄養」と「運動」と「社会参加」を軸に、保健師などの医療専門職が保健事業と介護予防両方の視点を持ち一体的に実施しています。

また、シニアボランティアの育成により、シニアの力を循環させていました。



実際に行われているけん玉を使った体操にチャレンジ！

文教厚生常任委員会

10月2日～4日



議場で戸田市議会副議長と

埼玉県滑川町

埼玉県戸田市

東京都清瀬市

行政視察

先進地に学び、見聞を広めて、

地域でみんなで支える

子育て支援・第3の居場所

埼玉県 戸田市



戸田市は平均年齢が42.3歳と、埼玉県内第1位の若い都市です。その中で、地域コミュニティの希薄化が問題となっており、地域全体で子どもの健やかな成長を応援するため「戸田市地域で子育て支援を推進する条例」を策定しました。

この条例のもと、子どもの意見を取り入れた事業を行ったり、子どもの居場所づくりネットワークの中で情報を集約したポータルサイト内で、一目で支援の情報が分かるようになっています。

子育てを家庭だけでなく、地域で支える仕組みづくりがされていました。

子育てファースト

子育て世代定住のため支援

埼玉県 滑川町

滑川町は年少人口(0~14歳)が15%と埼玉県内でも第1位。子育て世代が多く、人口が増え続けている町です。

東京のベッドタウンとして、東武東上線の新駅開設に伴い、平成22年まで区画整理事業が行われ、住環境が整備されました。

町としても給食費無償化や子ども医療費無料化、保育園や学童保育所整備など、子育て支援策を他の自治体に先がけ(平成23年度から)実施してきたため、ファミリー層の転入が増えたとのことでした。

町の会計に占める民生費が約40%、教育費も約14%と、子育てに力を入れていました。



MINNA NO HIROBA
みんなのひろば



踊る姿を見た方々を笑顔に!

**M.LK HAP
Dance School**
若宮コミセン



ばんげの「いい顔」みつけた!

今回は、広報広聴特別委員佐藤宗太が若宮コミュニティセンターで行われているM.LK HAP Dance School さんへ取材に伺いました。

幼児から高校生・スクールOBまで、年齢を区切りながら、楽しくダンスに取り組まれています。その様子の一部を紹介します。



『Laughter is the key to happiness ~笑う門には福きたる~』をモットーに踊るみんなが笑顔に、そしてその姿を見た方が笑顔に…を目標に楽しく笑顔でレッスンしています。



「ばんげ桜まつり」や「ばんげ夏まつり」にもご協力いただき、会場を盛り上げていただいています。



ダンスは、音楽に合わせて演じられる一連の動作のことで、運動神経やリズム感だけでなく、「仲間とのコミュニケーション能力」を向上させるため、現在では、中学校・高等学校の体育の授業に採用されています。



M.LK HAP Dance School
代表 児山 麻里奈 さん

ダンスは体ひとつあればできる
楽しくて素敵なスポーツです。
いつもみんなと楽しく踊れることに感謝です♥

若宮コミュニティセンターで活動中

●毎週木曜日

18:00~19:15 対象：小学3年生~6年生

19:15~20:30 対象：中・高校生

●毎週土曜日

9:15~10:30 対象：幼稚園児~小学2年生

10:30~11:45 対象：小学3年生年~6年生



編集後記

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた年を迎えられましたことお慶び申し上げます。

旧年は、民間調査の県内ランキングで道の駅あいづが人気一位、「街の幸福度」でも一位、またふるさと納税額は5億円超えを継続するなど、皆様のご努力のおかげで素晴らしい結果となりました。心より感謝申し上げます。

まちの将来像「やっぱりばんげ」がいい!住み続けたい、やりたいことがあるふれるまち「」を実現するため、将来を担う子どもたちの笑顔のために町議会はこれからも真摯に取り組んでまいります。
(佐藤 宗太)

広報広聴特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 山口 享 |
| 副委員長 | 目黒 克博 |
| 委員 | 五十嵐 孝子 |
| 委員 | 物江 政博 |
| 委員 | 佐藤 宗太 |